

上腕骨滑車部離断性骨軟骨炎の1例

名鉄病院 整形外科
大久保徳雄 土屋篤志 長谷川一行 焼田有希恵 磯部雄貴
名鉄病院 関節鏡・スポーツ整形外科センター
土屋篤志 長谷川一行

【はじめに】

肘関節は離断性骨軟骨炎(OCD)の好発部位である。多くは上腕骨小頭に発生し、上腕骨滑車部に発生することは比較的まれである。今回我々は上腕骨滑車部に発生したOCDの1例を経験したので報告する。

【症例】

15歳男子で野球部所属。右投げ右打ち。ポジションはキャッチャー。5カ月前からフォロースルー時の右肘痛が出現し、持続するため受診。可動域は伸展 -20° 、屈曲 145° 、回内、回外ともに 90° 。関節動揺性(-)、Moving valgus stress test(-) 日本整形外科学会-日本肘関節学会 肘機能 score (JOA score) 44点であった。CT、MRI 所見(図1、2) から上腕骨滑車部

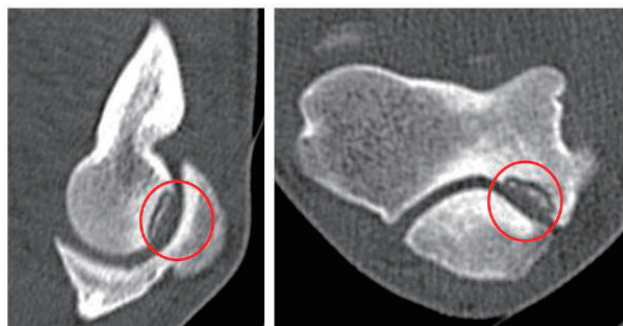


図1

T2強調

STIR像

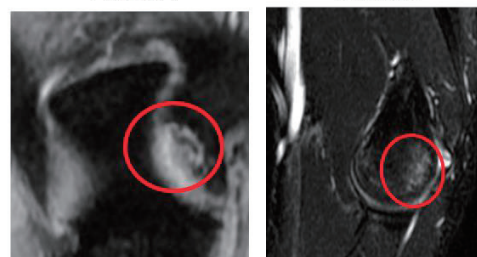


図2

OCDと判断した。中学3年生でプレー継続の意思が強いため初診後、半年間はプレーを行いつつコンディショニング等の保存療法を行ったが症状・画像とも改善なく(図3)、部活引退後に関節鏡視下にドリリングを施行した。

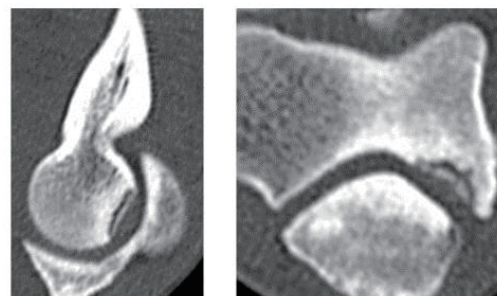


図3

【鏡視所見】

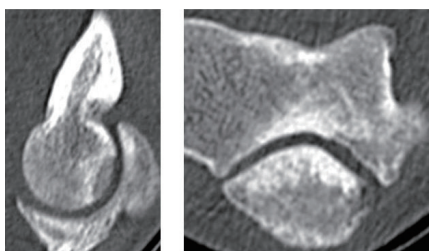
後外側、後方ポータルを用いて行った。屈曲を強くし滑車部を観察すると後方の軟骨に亀裂のある病変部を認めた。不安定性があり5か所ドリリングを施行した。(ICRS 分類 stage III)

Key words: 離断性骨軟骨炎 (osteochondritis dissecans), 上腕骨滑車 (trochlea of humerus), 野球肘 (baseball elbow)

【術後経過】

術後は3週間肘屈曲位でのギブスシーネ固定とした。術後7カ月のCTでは病変部の骨癒合が得られた(図4)。JOA score100点となった。高校1年生の4月から完全復帰した。

術後3カ月



術後7カ月

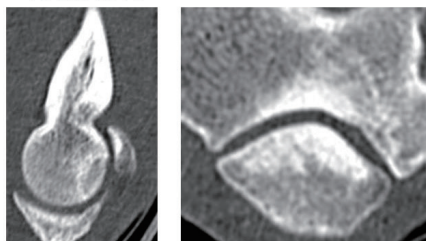


図4

【考察】

上腕骨滑車部 OCD の頻度は、柏口らが発育期野球選手の野外検診で発見された肘関節 OCD の 1.6% に認めたと報告した¹⁾。また辻野らは上腕骨滑車部 OCD の 23 例のうち原因スポーツとして野球が 19 例を占めたと報告している²⁾。発症原因として、物理的ストレスや内因性要因が考えられている。物理的ストレスとしては投球動作における内外反ストレス、水泳クロールでの回内ストレスなどの報告がある³⁾。また内因性要因としては滑車部血流障害が関与していると考えられている³⁾。上腕骨小頭部の OCD の治療方針としては、単純レントゲン検査での三浪分類による適応の決定が一般的であり、病期を透亮期、分離期、遊離期と分類し、透亮期では保存療法、デブリドマン、ドリリングを行い、分離期では骨釘移植術、遊離期では骨軟骨柱移植術などが報告されている^{4) 5) 6) 7)}。滑車部の OCD の治療に関しては、中央・外側では保存療法の報告が多くみられるが^{8) 9)}、病期によっては病巣搔爬や骨釘移植術も

行われている。内側では病期に応じた治療が行われている。本症例では中央・外側部の病変であり保存療法の選択もあったが、今回はドリリングを施行することで良好な成績を得ることができた。鑑別疾患としては、上腕骨滑車の骨端核の無腐性壊死である Hegemann 病が挙げられる。骨端核全体に病変を認める点が鑑別点である¹⁰⁾。

【まとめ】

上腕骨滑車部離断性骨軟骨炎の1例を経験した。ドリリングを行い良好な結果が得られた。

【文献】

- 1) 柏口新二, 井形高明, 松浦哲也ほか:
投球による肘障害の成因と病態. MB
Orthopaedics.11-4,1-9,1998
- 2) 辻野昭人, 伊藤恵康, 村中秀行ほか:上腕骨滑車離断性骨軟骨炎の診断と治療. 日整会誌 80-3,S316,2006
- 3) 村中秀行, 辻野昭人, 鶴飼康二ほか:スポーツ選手にみられる上腕骨滑車の MRI 異常像. 日肘会誌 .2005 ; 12 : 81-2
- 4) 伊藤恵康, 久保井二郎, 鶴飼康二ほか:上腕骨以外の肘関節部離断性骨軟骨炎. 日臨スポ会誌 .2001;9:340-6
- 5) 加納健二, 柏口新二, 紙谷 武ほか:上腕骨滑車骨端の骨化進行過程の観察および評価. 日臨スポ会誌 .2013;21:384-7
- 6) 岡田智佐子, 柏口新二, 紙谷 武ほか:競泳選手に発生した上腕骨滑車離断性骨軟骨炎の1例. 日肘会誌 .2010;17:S50
- 7) 堀内隆, 面川床平, 藤谷良太郎ほか:両側上腕骨滑車部に離断性骨軟骨炎を認めた1例. 日肘会誌 .2010 ; 17:S50
- 8) Marshall,K.W.,et al.:Osteochondral lesions of the humeral in the young athlete. Skeletal Radiol,38:479-491,2009
- 9) 梶田幸宏ほか:上腕骨滑車部に発生した離断性骨軟骨炎の5例. 日肘会誌 ,20:112-114,2013
- 10) 伊藤和生, 高橋正利 :Panner 病と Hegemann 病の画像診断 .MB orrhop. 2007;20:25-32